## キャンプファイヤーの蒔組

## ☆ 薪を長持ちさせ倹約しましょう。(一束700円です)

上からゆっくり燃やしましょう。薪組の途中にロストル(火格子)を作って、上から落ちてきた火の粉を受け止めると、全体が燃え広がるのを防ぐことができます。

キャンプファイヤーの始まりはまだ少し明るいので、大きな炎は必要ありません。ロストルにより、ゆっくり下へ火が移り、最後に大きな炎になります。

## ☆ 薪組の方法(15 東:1 時間半)



① しっかりした薪で土台を5~6角形 に組みます。



② 同時に、内側に正三角形を組みながら 補強していきます。2点よりも3点以上で支えるのです。



④ 徐々に四角形に縮めながら、内側の 三角形も交互に積み重ねながら補強 していきます。



③ 5~7段あたりでふたをします。 これがロストル(火格子)です。



⑥ その上に井桁(漢字の井の字)に組みます。



⑤ 5~7段で更にロストルを組みます。



- ⑦ ・これらを繰り返し人の背丈くらいに組みます。
  - ・ロストルは合計で4~5回くらい組みましょう。
  - 残った薪で回りを補強します。
  - ・井桁の間にも薪を挿入し、2点だけでなく複数点で上の薪を 支えるようにしましょう。



8 キャンプファイヤーの直前に新聞紙 4~5枚の上に細い薪を並べ、灯油 をかけます。



⑨ 灯油のかかった薪をいちばん上に縦に入れます。 その隙間に灯油のかかった新聞紙を差し込みます。 点火しやすいように井桁の間から新聞紙をちょっと 出しておくといいですね。



動 薪組に灯油をかけてはいけません。

灯油は 500ml ほどで十分です。

15 束で約 1 時間 30 分ほど炎が持ちます。 何も手をかけなくていいのです。

【検索】少年自然の家ホームページ>学校利用>予習していこう!

## ロストルを使った薪の燃え方

















15 束で約1時間30分ほど炎が持ちます。 何も手をかけなくていいのです。